

■ 埼玉県地域生活定着支援センター（令和元年度事業報告）

令和元年度経営方針

(1)地域生活定着促進事業

- ① 利用者に対しては、常に懇切で誠意ある態度で接するよう心がけ、その意思や主体性を最大限に尊重する。
- ② 利用者に対する支援は、本人の心身の状況、本人が過去に受けてきた福祉サービス等の内容、福祉サービス等に係る本人のニーズ、活用できる社会資源の状況等を十分に踏まえて行う。
- ③ 業務の遂行に当たっては、利用者の自立した日常生活の支援を効果的に行うため、その心身又は家族の状況等に応じ、継続的かつ計画的に適切な福祉サービス等の利用が行われるよう配慮する。
- ④ 犯罪歴、非行歴等の情報は、その性質上、厳に慎重に取り扱われなければならないものであることに鑑み、業務の遂行に当たっては、利用者及びその関係者のプライバシーの保持に十分に配慮するとともに、業務上知り得た個人情報を紛失し、又は業務に必要な範囲を超えて他に漏らすことのないよう、万全の注意を払う。
- ⑤ 業務の遂行に当たっては、常に公平かつ中立的な姿勢を保つ。
- ⑥ 業務内容は、コーディネート業務・フォローアップ業務・相談業務・啓発等の業務を行う。

令和元年度取り組み

1 利用者支援

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 受入施設等の拡大</p> <ol style="list-style-type: none">① 支援に必要な情報の提供をする。② 受け入れ先関係者と対象者との接見を行う。③ 矯正施設入所期間中に必要な申請等の手続きを完了させる。④ 「地域生活移行個別支援加算」を利用する。	<p>コーディネート業務対象者は、特別調整者 41 名と一般調整者 5 名の計 46 名で、過去最高の調整者数となった。また新型コロナウイルス感染の影響もあり、ケースに必要な面接の回数がとれない、面接が出所直前になる、直接会うことができずテレビ会議システムを使用し面接したケースもあったが、調整不調者は出さず帰宅先は確保した。</p> <p>新規受け入れ先福祉事業所として、障がい者のグループホーム 2 ヶ所を増やすことができた。</p>
<p>◆ 依存症等精神疾患の治療</p> <p>済生会鴻巣病院、県立精神医療センター、下総精神医療センター等、医療機関と連携強化する。</p>	<p>薬物依存 3 名、性犯罪 1 名を医療機関、グループホームと連携し、治療および支援を行っている。</p>
<p>◆ 継続的支援</p> <ol style="list-style-type: none">① 丁寧なフォローアップを行う。② 地域の支援機関にハブ機能移行する。③ 関係機関との連携強化。	<p>安定した地域生活ができている者、地域での支援の継続が確保された者が多く、フォローアップ業務対象者を減らすことができた。</p> <p>必要に応じて支援会議を開催し、関係機関（福祉施設、福祉事務所、相談事業所、医療機関、保護司、観察所等）と連携した支援を行った。</p>

2 人材育成

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 研修</p> <p>① 全国地域生活定着支援センター協議会主催の研修に参加する。</p> <p>② 関東甲信越ブロック研修を行う。</p> <p>③ 国立のぞみの園主催研修等に参加する</p>	<p>① リーダー研修に参加した</p> <p>② 長野県で開催した</p> <p>③ 刑事司法福祉フォーラム、共生社会を創る愛の基金シンポジウム、埼玉いのちの電話公開講演会に参加した</p>
<p>◆ 会議</p> <p>① 全国地域生活定着支援センター協議会</p> <p>② 全国地域生活定着支援センター協議会実務委員会</p> <p>③ 東京管区ブロックセンター長会議</p> <p>④ 連絡協議会「保護観察所、川越少年刑務所、更生保護施設、埼玉県、さいたま市、検察、定着支援センター」</p> <p>⑤ センター会議「埼玉県、さいたま保護観察所、基幹センター、センターらんざん・さやか・けいわ」</p> <p>⑥ 埼玉県地域生活定着支援センター運営推進委員会</p> <p>⑦ 合同支援会議「支援関係機関等」</p>	<p>① 1回実施した。</p> <p>② 委員から外れたため参加なし。</p> <p>③ 3回実施した。</p> <p>④ 5回実施した。</p> <p>⑤ 毎月実施した。</p> <p>⑥ 第1回は実施した。第2回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。</p> <p>⑦ 必要に応じ実施した。</p>
<p>◆ 啓発</p> <p>① 埼玉県地域生活定着支援センター主催の研修を行う。</p> <p>② 講師依頼等の機会をとらえて関係機関等に啓発を行う。</p>	<p>① 東日本少年矯正医療センターの見学会。事例報告会(障がい者、高齢者の各事例)。講演会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。</p> <p>② 12回実施した。</p>

3 施設設備管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 日用品の管理及び購入</p> <p>無駄を省き不足分を購入する。</p>	<p>左記の通り行った。</p>
<p>◆ パソコンのOS変更</p> <p>現在リースしているパソコンについてオペレーションシステムの変更で対応する。</p>	<p>変更し対応した。</p>
<p>◆ 車両2台の維持管理</p> <p>車両点検、運行表の記入、安全運転の励行。</p>	<p>無事故無違反。</p> <p>車検、6ヶ月点検整備を行う。</p>

4 危機管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
◆ 携帯電話の管理 携帯電話が紛失した時は、遠隔データサービスで消去する。	携帯電話の紛失なし。
◆ 資料・PC の管理 施錠できるキャビネットにて保管する。 事務所の施錠を徹底する。	左記の通り行った。
◆ データの持ち出し USB・PC の個人データの持ち出しは禁止する。	データの持ち出しなし。

5 その他

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
◆ 地域再犯防止推進モデル事業への協力 ① 実習等を通し、知識技能の習得など、埼玉県自立生活支援センター職員の人材育成に協力する。 ② コーディネート業務、フォローアップ業務、相談業務等へのアドバイス等を行う。	現場実習を行い、コーディネート業務、フォローアップ業務等の知識技能の習得の場を提供し、人材育成に協力した。必要に応じてアドバイスをした。

平成30年度からの継続	13人
令和元年度開始件数	46人
終了件数(取り下げ等を含む)	43人
支援継続中	16人

2 高齢者(65歳以上), 障害者の内訳 59人

高齢者(障害者を除く)	18人
障害を有する高齢者	5人
障害者(高齢者を除く)	36人

3 受入先別内訳(取り下げ等を除く)37人

更生保護施設	4人
救護施設	0人
自立準備ホーム	2人
養護老人ホーム	5人
介護施設短期入所	1人
障害者グループホーム	7人
自活訓練ホーム(県外)	2人
障害者入所施設(短期)	2人
自宅・アパート等	7人
病院	2人
その他	5人

4 フォローアップ業務

平成30年度からの継続	147人
令和元年度開始件数	37人
終了件数	101人
支援継続中	83人

5 相談支援業務

開始件数	52人
終了件数	39人
支援継続中	13人